

多様な学びと成長を支える校内支援の充実

～高等学校と地域支援センターがともに考える支援～

各地域支援センターのコーディネーターは、「地域支援コーディネーター研究協議会」を通じ、府立高等学校における特別支援教育の推進において情報共有・意見交換を重ねてきました。(令和5～7年度)令和7年度は高等学校特別支援教育コーディネーターにも参加していただき、現場での具体的な支援の実践を交流しました。本資料はその協議内容を基に作成しています。

高校1年生の「気になる様子」を共有し、早めの支援につなげるために

生徒のエピソード

困難さの状況

○学習理解の難しさ

○コミュニケーションの苦手さ

- ・1年生のAさんは、高等学校に進学してから、定期テストで点数がとれない状態が続いています。
- ・授業中は、質問をされても答えられず、黙り込んでしまうことがあります。
- ・人と会話するときには、緊張する様子があり、話し合い活動にも参加が難しいようです。
- ・最近では、宿題や課題も提出しないことが増え、授業中に寝ていることもあります。



その行動、実はサインかもしれません



気づく

(周りの人から見ると)
困った行動



(本人は)
困っている状況かも

周囲の生徒や教職員からは、「怠けている」「ごまかしている」と見えてしまう行動かもしれません。

しかし、その行動の背景をみると、困っているのに、うまく表現できなかったり、困っていることを必死で取り繕っていたりすることがあります。

「困った生徒」として行動だけを見るのではなく、「何かに困っている生徒かもしれない」という視点で、生徒一人ひとりの困りごとに意識を向けてみましょう。
**なぜ、どうして？
どのような原因や背景があるのだろうか？**

その問いかけが、支援につながる第一歩になります。



Aさんは、このような困難さを抱えている可能性が考えられます

- ・定期テストで点数がとれない。
- ・宿題や課題を提出しない。
- ・授業中に寝てしまう。



- ・本人にとって課題の難易度が高い。
- ・情報を聞いて理解したり、記憶したりすることが苦手である。

- ・質問に答えられず、黙り込んでしまう。



語彙が乏しく、言葉の意味を理解できないことがある。

- ・人との会話で緊張する。
- ・話し合い活動への参加が難しい。



- ・困ったときに、自分からヘルプを出しにくい？
- ・同時に複数人で会話することが苦手。



何から始めたらよいのでしょうか？

支援や配慮は裏面へ

支援や配慮をこのように進めました

① 本人のセルフアドボカシー※を育てる支援

- ・昼休みや放課後に個人面談の機会を作り、本人の困りごとや希望を把握し、教科担当と情報を共有しました。
- ・本人が相談をしてよかったと感じられるように、温かい雰囲気での面談を心がけました。

※「セルフアドボカシー」・・・自分のニーズ・気持ち・意見・権利を、自分の言葉で表現し、必要な支援や配慮を求める力

② 関係機関との連携

- ・保護者と懇談し、本人の困りごとを共有し、支援や配慮の方向性を確認しました。
- ・中学校だけでなく、小学校からも情報を収集しました。
- ・本人の得意・不得意を明確にするために、地域支援センターと連携し、アセスメントを行いました。

支える



③ 学校全体での体制づくり

- ・Teams を使って生徒の情報を日常的に共有できるシステムを作り、教員間で相談しやすい体制を工夫しました。
- ・授業中は、短く、具体的に指示し、復唱しました。できるだけイラスト・写真・動画などの視覚的提示を併用しました。
- ・本人に関わる教員が、小さな変化や成長を見逃さず、肯定的に評価するように意識しました。
- ・放課後に学生ボランティアと学習する時間を作りました。

地域支援センターから

●本人の実態把握・情報収集を進めましょう。

本人の苦手なことだけでなく、

「できていること」「得意なこと」の情報が支援のヒントになります。



アセスメントシート等
(京都府教育委員会 京都府立
高等学校の特別支援 HP)

●単位取得が難しくなる前の気づきと相談が、その後の支援につながります。

気軽に地域支援センターにご相談ください。

【地域支援センターによる高等学校支援の取組例】

- ・生徒の特性に合った学習環境の検討
- ・学習・生活支援方法の検討
- ・生徒のアセスメント支援 など

つなぐ



その後の A さんは・・・

- ・授業中の困りごとを、定期的な面談の中で相談できることがわかり、安心した様子で授業に参加することができています。
- ・学習の難しさはありますが、自分の得意や不得意を理解し、自分に合った学び方を工夫できるようになりました。



この資料は、令和7年度「地域支援コーディネーター研究協議会」で報告された実践を基に作成しています。

京都府スーパーサポートセンター (SSC)



地域支援センター 一覧
(京都府教育委員会
特別支援教育課 HP)